

筑波大学 人文・文化学群 比較文化学類

センター試験対策

主に学校で配られたセンター用のテキストを参考に勉強していました。夏休みいっぱい
は基礎を固めることに徹して、2学期から演習を行いました。

推薦入試対策

推薦入試の時期が11月末だったので、9月後半から対策を始めました。

面接練習は、志望動機から予想される質問を中心に週に2～3回行いました。また、デ
ィスカッションがあったため、先生や友達に協力してもらい練習しました。天声人語や社
説、文藝春秋の論点100を読んだり、日ごろからニュースをよく見るようにして、常に自
分の意見を持つというスタンスを身につけるようにしました。小論文は過去問を先生に添
削して頂きました。

推薦は「受ければラッキー」と思っていたので、センター対策を中心にした勉強も継続
していました。

苦手科目の克服

数学が苦手だったので、まずは授業と並行して基礎的な問題を沢山解きました。分から
ない問題でも、自分の力で解けるように最低でも15分は自分で考えるように心がけまし
た。また、放課後等を利用して先生に教えて頂きました。沢山問題を解くうちに苦手意識
はなくなり考えることがとても楽しくなったので、とにかく問題数をこなすことが大切だ
と思います。

なぜ自分は合格できたか

普段の授業から、記述問題・英作問題には取り組むように心がけました。授業以外では、
ボランティア活動や英語のスピーチコンテストやインタラクティブフォーラムなど様々な
ことに挑戦してきました。また、生徒会活動を通して人前で話すことを沢山経験してきた
ので、面接の時も落ち着いて話すことができました。

直前に行った何か特別なことではなく、積み重ねてきたものを発揮できたことが結果に
つながった要因の1つだと思います。

学習方法

私は集中力がなく長時間続けて勉強することができなかったので、ご飯やお風呂をはさんだり、朝早く起きて勉強したりしました。また、覚えたことを家族や友達に話して、知識として定着させました。日本史・政経はこのやり方がとても有効だと思います。

後輩へのアドバイス

やらないで後悔するよりは、やって後悔した方が自分にとってプラスになると思います。私は推薦を受けるかどうか悩みましたが、先生の後押しもあり出来るところまでやってみようと挑戦しました。結果、合格することが出来たのであきらめなくて良かったと感じています。また、成績が伸びないということはまだまだ伸びしろがあるということです。何事もポジティブに！自分を信じて最後まで諦めずに頑張ってください。高校生活はあっというまなので沢山のことにチャレンジしてください。